

「ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び」

マルコによる福音書 第4章8節

イエス様は「種を蒔く人の譬え」話をされます。ある人が種蒔きをしました。ある種は道端に落ち、別の種は石だらけで土の少ない所に落ち、またある種は茨の中に落ちました。それらの種は、実を結ぶことができませんでした。しかし他のある種は「**良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び**」ました。

この譬え話は、「種」を神様の御言葉、それを受けるそれぞれの土地を、御言葉を聞く私たちに譬えています。どんなに素晴らしい神様の御言葉でも、それをしっかり受け止めないと空しい物となってしまう、と言うのです。しかもっと大切なことがある。それは「神様は、あなたは『**良い土地**』であり、神様の言葉を、しっかり受け止めてくれると信頼している」。そのことをイエス様がこの譬え話で語っておられる、ということです。「**ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった**」(マルコ4・8)。種をまく人、それは神様ご自身です。神様があなたを、「私の言葉をしっかり聞き、30倍、60倍、100倍の、素晴らしいものを生み出してくれる」と信頼してくれている。そうイエス様は言っておられるのです。神様から信頼されているあなたであること。そのことを知る中で、神様の言葉を、良く聴きたいと思います。

遠州教会 牧師 石井佑二